

ご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者のご派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成20年度 鋼橋設計・施工研修

—基本技術から最新の技術まで—

共催 社団法人 日本橋梁建設協会
財団法人 全国建設研修センター
後援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

本研修では、鋼橋の設計・製作・架設・維持補修等の鋼橋技術全般に亘り、経験豊富な第一線で活躍されている技術者（講師）の方々により実践的で、わかりやすい講義をおこないます。

最新の鋼橋に関わる技術を短期間に修得することができ、鋼橋建設業務に携わる職員の皆様には大変有意義な研修となっており、特に最近注目されている維持補修についても1日費やして研修を実施します。

また、全国から集まる実務担当者との相互交流、情報交換の貴重な機会としても大変好評です。皆様のご参加をお待ちしております。



千歳橋（大阪市）



美原橋（江別市）

（社）日本橋梁建設協会より提供

期間 平成21年1月28日（水）～1月30日（金） 3日間

場所 （財）全国建設研修センター 全国建設研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296

<http://www.jctc.jp/>

※（社）建設コンサルタンツ協会の継続教育（CPD）認定プログラム

※（社）全国土木施工管理技士会連合会の継続教育（CPDS）認定プログラム

平成20年度 鋼橋設計・施工研修 実施要領

1. 目的

鋼橋の設計・製作・架設・維持補修等に関する総合的な知識の修得をはかる。
また、共同生活による、相互啓発、相互交流、情報交換を通じて、職場における業務の推進に資するものとする。

2. 対象職員

鋼橋の設計・製作・架設・維持補修等に携わる職員

3. 募集人数 50名

4. 研修期間 平成21年1月28日(水)～1月30日(金) 3日間 全寮制(通学を希望される方は、ご相談ください。)

5. 集合日時

1月28日(水)、9時00分までに、全国建設研修会館にご集合ください。
※前日宿泊を希望される方は、21時までにご入館ください。

6. 教科目、講師及び研修場所(次頁以降参照)

7. 申込先及び問い合わせ先

財団法人全国建設研修センター 研修局 研修担当：荷出、長谷川
〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

※ 申込みは郵便、FAX、メールいずれでも受け付けております。
メールで申込みをする場合は、申込書フォームをメールでご請求ください。
TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296 メールアドレス：uketuke@jctc.jp

8. 研修経費及び納入先

(1) 研修経費

研修会費	宿泊費	経費合計
68,000円	5,800円(2泊分)	73,800円
	前日宿泊の場合8,700円(3泊分)	76,700円

※経費はすべて1人当たりの金額です。※研修会費、宿泊費には消費税を含んでおります。

(2) 研修経費納入先

三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.316
財団法人 全国建設研修センター

ナ ト 伊
理事長 内 藤 勲

【 受講通知書到着後にお振り込みください。
振込手数料はご負担ください。
なお、経費別の納入及び当日持参も可。 】

(参考) 食費は隣接国土建設学院食堂(土・日・祝日は休み)を利用した場合、1日当たり1,400円(定食：朝400円、昼450円、夕550円)です。お支払いは直接食堂へ

9. 申込締切期日 平成21年1月9日(金)

申込書にご記入のうえ、お早めにお申し込みください。

10. 持参品

(1) 筆記用具、共済組合員証又は健康保健証、洗面用具及び雨具等。

(2) その他

- ・研修受講中の服装及び履物は常識的なものを着用してください。
- ・洗濯機・乾燥機及び浴衣はございます。室内履き(スリッパ)はございます。
- ・石けん、シャンプーはございます。(タオル類はございません。)

11. 駐車場はございません。

平成20年度 鋼橋設計・施工研修 時間割

講義日時	教科目	講義内容	講師所属	講師名		
1/28 (水)	8:30～9:00 9:00～10:00	受付 オリエンテーション				
	10:00～11:30	鋼橋へのアプローチ	鋼橋全般について、橋の分類・橋の名称・どのように作られていくのかその過程や特徴などをわかりやすく紹介します。初級のガイダンスです。	株式会社サクラダ 市川工場 設計部 部長	渡部 鐘多朗	
	12:30～14:00	新しい鋼橋の誕生	公共工事に求められるコスト縮減の環境に対応した新しい形式の鋼橋を紹介します。さらに、経済性、耐久性の向上、安全性の向上、維持管理の低減を追求した合理化された最新モデルの鋼橋について紹介します。	(株)日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 委員		
	14:10～16:00	鋼橋の設計・計画の チェックポイント	鋼橋に携わる技術者として発注前・後の諸問題を最小限とするために必要な基礎知識を、計画・設計上の基本的確認事項および不具合事例をもとに解説します。	トピー鉄構株式会社 技術部 部長 (株)日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 委員		播金 昭浩
	16:10～17:30	鋼橋の製作	鋼橋の工場製作の工程の流れに沿って、施工要領、使用機材、品質検査等、必要な基礎知識について解説します。	株式会社 I H I 愛知工場 品質保証グループ 課長 (株)日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 製作技術部会 部会長		沖 俊英
1/29 (木)	9:00～11:00	無塗装耐候性橋梁	耐候性鋼材の基礎から、適用事例、採用時の具体的な留意点等を解説し、さらに、最近の新しい技術を紹介します。	株式会社 横河ブリッジ 橋梁生産本部 設計第一部 第一課 課長 (株)日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 無塗装部会 部会長		鈴木 克弥
	11:10～12:00 13:00～14:00	架設計画概論	鋼橋の種類・分類・構造特性の解説を行い、その橋梁種類・分類、また、現地条件に応じた架設工法の選定要領と、架設計画時の留意点について解説します。	日立造船鉄構株式会社 鉄構建設部 計画課長 (株)日本橋梁建設協会 技術委員会 架設小委員会 架設部会 委員	武藤 利明	
	14:10～17:00	一般的な架設工法	鋼橋の架設工法について、各工法における施工要領、施工上の留意点、架設機材、施工管理などを説明します。	三井造船株式会社 鉄構・物流事業本部 建設工事部 工務グループ 部長 (株)日本橋梁建設協会 技術委員会 架設小委員会 架設部会 委員	大下 嘉道	
1/30 (金)	9:00～10:30	維持補修概論	鋼橋の維持補修の基本的な考え方を説明します。また、点検方法や具体的な損傷事例と補修・補強方法についても説明します。	横河工事株式会社 東京橋梁本部 工事部 工事課長 (株)日本橋梁建設協会 保全委員会 保全技術小委員会 保全第一部会 副部会長(施工)	小川 幸治	
	10:40～12:00	補修・補強事例	鋼橋の補修・補強事例として、主に疲労損傷を中心に破壊の特徴、各形式の損傷事例を説明します。	瀧上工業株式会社 生産本部 技術設計グループ 開発保全チーム 係長 (株)日本橋梁建設協会 保全委員会 保全技術小委員会 保全第一部会 委員(技術)	亀山 誠司	
	13:00～14:30	保全工事における 補修・補強設計の留意点 -補修・補強設計への提案-	鋼橋の補修・補強設計では損傷原因を特定して除去することが重要です。これをメインテーマとして腐食や疲労などの対策について説明します。	川田建設株式会社 保全技術部 次長 (株)日本橋梁建設協会 保全委員会 保全技術小委員会 保全第一部会 部会長	瀬田 真	
	14:30～14:40	閉講式				

※教科目及び講師については変更することがあります。

平成 20 年度 鋼橋設計・施工研修申込書

(財)全国建設研修センター

ふりがな		年 令 ・ 性 別	
氏 名		満 才	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
最 終 学 歴	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高 校	<input type="checkbox"/> 大 学 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 短大(高専) <input type="checkbox"/> 専門学校 科卒業
当研修に関する経験年数	年 ヶ月	役 職 名	<input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 技術
勤 務 先	(勤務先名) 部 課 Ⅷ		
勤 務 先 種 別	<input type="checkbox"/> 国、地方公共団体 <input type="checkbox"/> 建設業者	<input type="checkbox"/> 機構、旧公団、公社等 <input type="checkbox"/> コンサルタント等	<input type="checkbox"/> 技術センター、財団、社団 <input type="checkbox"/> その他
勤 務 先 所 在 地	〒 ー		
研修経費納入方法	研修会費 <input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 持参	宿泊費 <input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 持参	

◎ 前日宿泊を希望(□する □しない) 該当する項目を□してください。
 ※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修業務を円滑に実施するために利用するもので、それ以外の目的では利用いたしません。

< 鋼橋設計・施工研修 >

受講者派遣機関名
〒 ー Ⅷ

所 在 地

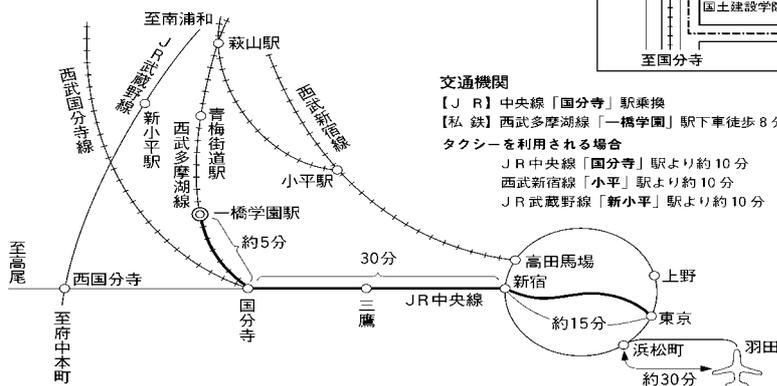
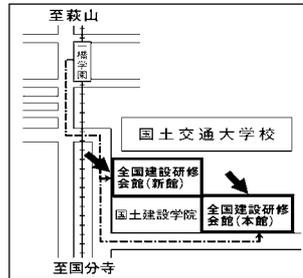
派遣事務担当者
所属・氏名

キ リ ト リ セ ン

< 研 修 場 所 >

(財) 全国建設研修センター
 全国建設研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
 TEL 042 (324) 5 3 1 5 (代)
<http://www.jctc.jp/>



【参考】 平成 20 年度、当センターが実施いたします橋梁部門の研修は次のとおりです。

研 修 名	※対象者	日 数	研 修 初 日	研修会費(円)
プレストレスト・コンクリート技術	一 般	5	7 / 1 4 (月)	8 0, 0 0 0
橋梁設計	一 般	12	8 / 2 5 (月)	1 4 4, 0 0 0
くい基礎設計	一 般	4	1 1 / 2 5 (火)	7 5, 0 0 0
橋梁維持補修	一 般	5	1 2 / 1 (月)	8 6, 0 0 0
鋼橋設計・施工	一 般	3	H21 1 / 2 8 (水)	6 8, 0 0 0

※「行政」… 国、地方公共団体、機構、旧公団等の職員を対象とした研修

※「一般」… 行政、民間企業の職員を対象とした研修

平成 20 年度に実施する研修の実施計画についてはホームページで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>